

2025年度

ニチキッズ井瀬木保育室 自己評価総括表

地域社会における保育施設として、その運営や保育内容について、自らの保育実践を振り返り、自己評価を行いましたので、その結果を以下の通り公表いたします。

また、本自己評価の結果を踏まえ、今後も更なる専門性の向上や保育実践の改善に努め、より一層質の高い保育の実践を目指してまいります。

評価方法		
保育士等（全職員）の自己評価	評価期間	2026年1月5日（月）～1月30日（金）
	実施方法	全職員に自己評価について趣旨を説明し自己評価を実施した。
保育施設の評価	評価日	2026年2月9日（月）
	実施方法	話し合いにより職場全体で共有し、保育施設の課題を明確化し、改善策を検討した。

項目ごとの評価	
保育理念	「思いっきり遊ぶ、思いっきり学ぶ」の保育理念のもと、子ども一人ひとりが安心して遊べる環境作りに努めた。今後も子どもが遊んでいる姿から遊びの環境を考え、思いっきり楽しめる環境を整えていきたい。
子どもの発達援助	年齢や月齢に捉われず、一人ひとりの発達段階に合わせた環境作りや関わり方ができるよう、職員間で共有した。地域機関との連携を図り、必要な支援が受けられるように努めた。
保護者に対する支援	送迎時に園での様子を丁寧に伝えたり、保護者の子育てに関する相談を聞く機会を作ったりするなかで、悩みや思いに寄り添えるような関係作りに努めた。より相談しやすい体制を整え、安心して預けられる園作りを目指したい。
保育を支える組織的基盤	日々のミーティングや会議を通し、子どもの姿や対応について話しあい共通認識を図った。園内外での研修を通し、特に不適切保育について事例検討を行い、園の保育を振り返る場とすることができた。

総評	
園の保育理念・保育方針を理解し、子どもが十分に遊び込める環境作りに努めた。一人ひとりの発達や思いに寄り添った丁寧な関わりを大切に、こどもの「やってみたい」気持ちを受容した保育を実践することが出来た。また、保護者支援にも力を入れ、日々の対話や連絡帳を通して、子どもの姿を具体的に伝え保護者の不安や悩みに寄り添うことを大切にしたい。今後は、職員間の情報共有をさらに深め、保護者支援の充実と保育の質の向上に努めていきたい。	